

24
25



 U-NEXT

 Premier League

REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXTプレミアリーグ 【29】 0220_アストン・ヴィラVSリヴァプール（前倒し開催）

DATE

2025/02/20

NAME

田中裕介



2

-

2



アストン・ビラ

リヴァプール

ユーリ・ティレマンズ 38'
オリバー・ワトキンス 45+3'



モハメド・サラール 29'
トレント・アレクサンダー＝アーノルド 61'



サブメンバー



2 マティ・キャッシュ ↑	↑ ルイス・フェルナンド・ディ...	7
17 ドニエル・マレン ↑	↑ ダルウィン・ヌニェス	9
22 イアン・マートセン ↑	↑ ジャレル・クアンサー	78
26 ラマレ・ボハルデ ↑	↓ コナー・ブラッドリー	84
41 ジェイコブ・ラムジー ↑	遠藤 航	3
25 ロビン・オルセン	フェデリコ・キエーザ	14
48 オリヴィエ・ジフ	ハーヴェイ・エリオット	19
56 ジャマルディーン・ジモー・アロバ	コスタス・ツィミカス	21
	クィービーン・ケレハー	62



チーム別データ

9	シュート	17
4	枠内シュート	3
53%	ボール支配率	47%
448	パス	400
83%	パス成功率	85%
8	ファウル	6
1	イエローカード	0
0	レッドカード	0
3	オフサイド	2
6	コーナーキック	8

MATCH REPORT

SCORE 2-2 (1st 2-1 2nd 0-1)

TOP3 point

- ・ ミスを挽回するヴィラの強いチームメンタリティ
- ・ 後半目覚めたリヴァプールの右サイド
- ・ 両GKのクオリティの高さ

Trivia of this match

- ・ ティーレマンズは学業優先の家庭で育ち柔道も習っていた
- ・ マッギンとマクアリスターの兄弟は共にプロサッカー選手
- ・ ディアスはコロンビアの英雄バルデラマ主催のワユ一族の才能発掘プログラムで見出されキャリアを好転させた

【アストン・ヴィラ】

システムは4-3-3。

冬に加入したアセンシオ・ラッシュフォードがスタメンに入り、ロジャーズが右サイドに入る2列目の構成。立ち上がりから右サイドのロジャーズが内側に位置どり、中盤真ん中のエリアに加わる。

アセンシオ、ティーレマンズなどと絡み数的優位を作り出す。

自陣ビルドアップでのミスから先制を許すがその後はミスを挽回しようとする

チームメンタリティを発揮して前半のうちにセットプレーとクロスから逆転に成功。

特に2点目に繋がったアセンシオの縦パスや左サイドからのクロスに人数をかける姿勢など今後に期待感の持てるゴールシーンだった。

後半は相手右サイドの対応に手を焼く。

前半サラリーにうまく対応していた左SBディーニュが少しずつ突破を許す。

失点も相手右サイドから。カウンターからサラリーに突破を許し最後はアーノルドに決められた。相手のキーマンサラリーにスペースを与えてしまう、またボールを供給しやすくしてしまうチームの構造にやや問題があったか。(前半はうまく対応していたが、)

その後はピンチがあるもののGKマルティネスを中心に失点を許さず、攻撃では交代で入った選手が勢いをもたらし勝ち点3も見えたが最後はこじ開けられず引き分けに終わった。

新戦力の融合も徐々に進み首位相手に勝利も見えた内容はポジティブに感じた。

試合を通して脅威を与えたロジャーズ、先制点のティーレマンズ、球際で闘い続けたマッギンの中盤3枚と最後の砦マルティネスは素晴らしかった。

【リヴァプール】

システムは4-3-3。

大きな布陣・メンバー変更はなく左WGにはカーティス・ジョーンズを起用。

立ち上がりはスピーディーに攻め込むことに成功。相手のビルドアップミスやカウンタープレスからチャンスを作る。その後相手の中盤に優位性をつくられボールを支配されるものの

思わぬ形で先制点を奪う。相手右SBのA・ガルシアのビルドアップミスを

ジョタがインターセプト。そのまま持ち込みGKを引き付け横パス。

これをサラリーが難なく流し込む。サラリーの今季24ゴール目で先制。

しかしその後はセットプレーとクロスから逆転を許す。

構造上の問題というよりは相手の強い気持ちとクオリティの高さによる失点だった。

後半は仕切り直して攻勢に出る。

前半うまく使えてなかった右WGサラリーの外からの突破を活用。これがTAAの同点ゴールを生んだ。

カウンターからTAAがサラリーに預けたボールをリターンで受けフィニッシュ。

相手の身体に当たったボールはゴールに吸い込まれた。

その後は一気に畳み掛けるかと思ったが選手交代でややトーンダウン。

交代で入ったブラッドリーが怪我で交代、チャンスをヌニェスが活かせないなど

結果的に効果的な采配だったとは言えなかったか。

最後は相手の攻勢を受けてなんとか勝ち点1を持ち帰ることに成功したという印象だった。

試合を通してGKアリソンの安定感は目立った。

後半サラリーに通したパントキックも見事だった。